



2月号 令和8年1月15日 発行

# 四中だより

目指す学校像

生き生きと学び、夢と希望を胸に、感動を実感できる学校

「なし（無し）」で良いものと悪いもの

～「やる気」なら今すぐ～ 校長 太田 穎治

令和8年が幕を明けました。3学期も始業式から1週間ほどがすぎ、日常の学校生活になっています。保護者や地域の皆様には、本年も本校の教育活動にご理解とご協力をいただきたく、どうぞよろしくお願ひいたします。

さて、新年（新学期）を迎える、各クラスでは生徒たちが「今年の目標」を考える様子が見られました。始業式では、「〇〇なし」という言葉を用いて生徒たちに話をしました。この「〇〇なし」ですが、どんな言葉が入るかによって、あってよいもの（なくてはいけないもの）とあってはいけないものの2つに分けられます。

## 【例】

「事故なし」「ケガなし」「いじめなし」「不祥事なし」など

⇒ これは、あってはいけない、あって欲しくないものをゼロにという意味

「計画性なし」「実践なし」「反省なし」「改善なし」など

⇒ これは、ないと逆に困るもの、これはやってくださいという意味

学校を含めて、私たちはいろいろな場面で目標を立てますが、まずはそこに計画はありますか？ 計画を立てたところで、

計画に基づいた実践は？ 実践に基づいた評価は？ 評価に基づいた改善は？ 改善に基づいた新たな目標は？ という風にサイクルしていくとよいと思います。

これは、PDCA サイクルとよばれるマネジメント手法で、以下の4つのプロセスを回していくことで目標達成を目指します。

P l a n (計画) ⇒ D o (実行) ⇒ C h e c k (評価) ⇒ A c t i o n (実践)

ところで、目標達成のための「計画」があったとしても・・・

しっかりと計画があっても、目標達成といかない場合もよくあることです。

学業に関して言えば、自分の努力もさることながら、環境要因（時間・お金・周囲の理解や協力など）も大きいのは事実です。でも、環境要因に影響されないことがあります。それが、「やる気」。だからも影響されることなく、時間もお金も関係ない。今回のテーマの「〇〇なし」ですが、「やる気なし」だけは絶対ダメです。まずは、「やる気だけならだれにも負けない」でもよいかと思います。

朝霞市立朝霞第四中学校  
埼玉県朝霞市栄町 5-1-60  
TEL(048)466-4711  
Fax(048)467-4744